

要 求 書

平成30年8月6日

三朝町教育委員会
教育長 西田 寛司 様

要求者 三朝町立東小学校PTA
会長代行 長安 雅文
副会長 中島 立志



町内小学校統合における方針の再検討に関する要求

日頃より本校の教育活動に多大なるご支援・ご尽力を賜り、誠に有難うございます。

さて、7月27日の町総合教育会議にて決定された「平成31年度3小同時統合」について、教育委員会事務局の皆様と東小PTA会員との協議が不十分なまま決定されたとして、決定方針を容認できないとする意見が多数挙がりました。その理由として

- ① 6月3日付で三朝町長より教育委員会に出された要請文に「・・・(前略)・・・PTA、地域等に丁寧な説明と合意形成を行ったうえで、結論を出していただくよう再度検討を要請します。」とあるにも関わらず、PTAにも地域にも丁寧な説明も合意形成のないまま平成31年4月3校同時統合を決定したこと。
- ② 東小PTAが平成30年6月25日に提出した質問「統合の必要性及び統合の時期・適期に関すること」について、教育委員会からの7月11日付の回答書では、「・・・(前略)・・・今後、東小校区の保護者の皆様にも統合に向けた様々なプランをお示しし、ご意見を伺いながら、合意形成が出来次第、統合したいと考えております。」と公約されたこと。東小PTAとして今回決定された「平成31年4月の3校同時統合」について合意はした覚えはありません。

そのような状況を受け、本校では、8月1日に臨時のPTA総会を開き、参加者全員が「平成31年度3小同時統合」が適切ではないという意見で一致し、統合方針を再検討していただきたいという結論に至りましたので、その内容を貴台にお伝えし、以下のとおり要求することといたします。ご精読の上、慎重に検討していただきますよう、お願い申し上げます。

記

要求事項 三朝町立東小学校は、平成32年度以降に統合することを要求します。(現在の教職員数を確保し、これまでと同等の教育体制を保障することを前提とする。)

※また、要求事項実現の可否に関わらず、先般の「質問状」における懸案事項については、引き続きご検討をお願いいたします。

要求理由 1 年度途中の方針決定につき、児童・教職員とも、あらゆる学習活動にて「締めくくり」という特別な態度で臨めておらず、かつ移行準備期間が不十分であること。

- ・東小の児童や教職員は、つい先日まで今年度限りで閉校するという意識はなく、既に終えている様々な行事や学習については、特別な思いで臨めていない。統合の一番の当事者である児童が、諸活動を進める過程において統合を納得し得る機会を逸し、締めくくりとして普段以上に奮起することが期待できる得難い機会を逃すことは、教職員や保護者にとっても非常に残念なことである。また、今後7か月の間に統合に向け心理的・物理的に準備をしていくことは、あまりにも期間が短く、新しい環境へ順応できる個人差を考慮すると、児童らがスムーズに移行するのは困難である。

要求理由 2 統合時の受け入れ先の環境整備が不十分であること。

- ・統合時から当面通学すると思われる現西小校舎において、在籍児童数が増えるにも関わらず、その学習環境、生活環境の整備が進んでいない印象を受ける。新たに校舎に入る子どもたちの不安を少しでも軽減できるよう、特にトイレや非常階段については可及的速やかな改修を求めます。また、他の具体的な修繕・改修箇所については、東小学校の保護者のみならず、南小学校や在籍中の西小の保護者あるいは教職員の皆様からも意見を聞き取り、校内の環境整備を進めていくことを求めます。

○参考情報

・8月1日の臨時PTA総会の出席者数は総勢36名、全34世帯中27世帯が出席（保護者29名、教職員7名）。採択した要求事項は、賛成29票、反対1票（平成32年度に統合する）、白票は6票。

・8月1日に開催された臨時PTA総会、また、本状の提出について、PTA会長不在であるが予め判っている状況で実施したため、本来なら、PTA会長名で提出するところですが、会長代行の代表者名で提出しています。尚、本状提出に関しては、PTA役員の総意をもって決定していますが、PTA会長は、臨時総会への不参加者の意見を丁寧に聞きたいという意向があること、また、臨時PTA総会に欠席していることで、その会への参加者の意見を板書の記録写真から読み取ることがしかできず、公正・公平な判断が難しいとして、「会長の担うところを、副会長の長安雅文さんに一任する」という旨の文書を、臨時PTA総会の添付文書と配布しています。別添資料としてご一読ください。

ご挨拶

本日は大変お忙しい中、また、急なご連絡にもかかわらず、お集まりいただき、ありがとうございます。本来なら、この場でご挨拶するところですが、都合により出席できないことに対して申し訳なく思う次第です。尚、重要な案件を話し合う機会ですので、会長の担うところを、長安副会長にお願いしていますので、会の進行へのご協力を宜しくお願いいたします。

まず開会に先立ち、一つお詫びをいたします。7月29日にマチコミメールにて開催日をお知らせした際に、「意思統一を図ろうとする旨の記述」および「欠席の場合は、今後の対応を一任するようお願いする記述」がございました。この小学校統合問題に関しては、これまでに実施された集会や先般の記述式の意見聴取からも周知のとおり、現在のPTA会員の中でも様々なご意見があり、どの意見も尊重されるべきものと考えています。そのような多様なご意見や考え方を統一し、さらに、やむを得ず欠席する方の主張は、今後一切受け付けないとも取られかねない表現について、不快な思いをされることがあったかもしれません。この件が重大な案件であることから、本会へ是非ともご参加いただきたいという思いでの表現で、PTA会員の皆様の自由な発想や発言を統制しようとしたり、出席を強要しようとする意図ではございませんので、どうかご容赦ください。

さて、早速ですが、本件に対する私個人の考えをお伝えします。

本会で、各個人の意思を表明することがあるとすれば、おそらく、31年度3校同時統合に賛成か反対かという態度を示すことになろうかと思えます。思うところは沢山ありますが、是か非かをはっきり明言することは避けたいと思います。それには以下のような理由があります。

私は現在小学6年生の保護者ですが、この子が卒業すると、小学校に在籍する子どもが一旦なくなります。(1歳の子がいるので、5年後には、また小学生の保護者になるのですが・・・)平成31年4月から小学校のPTA会員ではなくなるのがわかっている状況で、時の会長として大きな決断をすることは、必要な場合もありますが、残られる方々にとって非常に無責任な判断に陥る場合も考えられます。また、現在の6年生については、保育園の統合時における最後の卒園児ということで、統合問題に翻弄されてきた世代で、私自身も東保育園の最後の保護者会長として奔走してきました。親子共に馴染み親しんだ保育園を閉じることに対して尽力することは、精神的にも身体的にも相当堪えたことを覚えています。あれから6年が経過し、奇しくもあの時と同じように統合の問題に会長として直面することとなり、再び苦しい局面を迎えています。とはいえ、避けて通ることができない問題のため、会長の役を引き受ける際に、「もし統合の問題に関して動くことがあれば、(小学校に)下の子がいない私は、判断しかねるので、皆さん(他の下学年児童をもつ現6年生保護者の方)にお願いするかもしれない」ということを確認し、了解を得て会長の職務を務めるに至っているという経緯もあるため、中立的な立場で様々なご意見を傾聴しているところです。

最後に、本会がどのような形で収束するのか分かりませんが、「子どもたちのために」という視点ももちながら議論することで、良い方向へ進んでいくのではないかと思います。出席もできず、誠に申し訳ありませんが、有意義な会となることを望んでいます。

2018年8月1日

東小学校PTA会長 山本 亮